

荒川下流域を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）専門部会  
議事要旨

日時：平成30年12月7日（金）13：00～17：00

場所：江東区砂町文化センター 3階 研修室

1. 開会挨拶

○荒川下流河川事務所長

本日は年末のお忙しいところ、荒川下流域を対象としたタイムラインの専門部会、みなさんご参加いただきまして誠にありがとうございます。

「タイムライン」という言葉は世の中にはだんだん馴染んできて、もうみなさんの中でも「なんだいこれは」という方はいらっしやらないと思います。

荒川下流の取組としては、平成27年の5月に全国に先駆けて荒川下流域で総合したタイムラインを、本日も来ていただいている松尾先生のご支援のもと策定をし、現在は沿川だけでなく氾濫域を含めた市区で運用をさせていただいているという状況です。その中で一番大事なのは、計画を実行に移し、そして何か問題はなかったか各年末に振り返りを行うということで、本日はその振り返りも含めてみなさまのご意見、また最新の情報を共有させていただくために開催した次第です。

本年度、荒川下流域では全部で6回タイムラインを適用し、みなさんと共に事前防災行動をとっています。全国的な台風被害については、大変大きなものだったというのが今年度の特徴だと思います。それを踏まえて現在、国土交通本省でも対策をどうするか、ダムを含めて検討しており徐々に方向性ができていますので、またみなさまにも情報の共有を図りたいと思います。

その中で荒川下流域のハード対策を紹介させていただきますと、荒川の上流部埼玉のほうでは今年度から荒川第二・第三調節池の事業の新規着手を行っております。また、下流部では、京成本線の架け替え事業など鋭意進めております。こうしたハード対策を行うと共に、今日みなさまに訓練等していただくタイムラインのソフト対策をしっかり行っていくことで、流域の洪水の安全確保できるのではないかなと考えています。

本日の前半部分は最新の情報を含めた勉強会、中盤にタイムラインの適用訓練ということで今一度みなさまにタイムラインを振り返っていただいたところで、最後に今後のタイムラインを検討する方針について、という3部構成となっていますので、少し長い時間となりますが、本日もどうぞよろしく願いいたします。

## 2. 議事 1 (勉強会)

### (1) 荒川下流 T L (拡大試行版) について

議事 1 (1) 荒川下流 T L (拡大試行版) について、事務局より資料の説明が行われた。

#### ■関係資料

◎資料 1 荒川下流 T L (拡大試行版) について

### (2) 平成 30 年度タイムライン運用の振り返り

議事 1 (2) 平成 30 年度タイムライン運用の振り返りについて、事務局より資料の説明が行われた。

#### ■関係資料

◎資料 2 平成 30 年度タイムライン運用の振り返り

### (3) 荒川下流 T L (拡大試行版) の想定する被災シナリオと

タイムライン運用時に活用する情報について

議事 1 (3) 荒川下流 T L (拡大試行版) の想定する被災シナリオとタイムライン運用時に活用する情報について、事務局より資料の説明が行われた。

#### ■関係資料

◎資料 3 荒川下流 T L (拡大試行版) の想定する被災シナリオと運用時に

活用する情報について

議事 1 (1)～(3) について、意見はなかった。

## 3. 議事 2 (机上演習)

### (1) 荒川下流 T L (拡大試行版) 適用訓練 (机上演習) について

議事 2 荒川下流 T L (拡大試行版) 適用訓練 (机上演習) を行った。

#### ■関係資料

◎資料 4 演習の進め方

◎資料 5 演習シナリオ

◎資料 6-1 修正版 荒川下流タイムライン(拡大試行版)

◎資料 6-2 修正箇所明示版 荒川下流タイムライン(拡大試行版)

◎資料 6-3 荒川下流タイムライン(拡大試行版)の修正根拠

議事 2 について意見はなかった。

松尾アドバイザーに演習の講評をいただいた。

#### ●松尾アドバイザー講評

みなさまご苦勞様でした。駆け足で、忙しかったかもしれませんが。私も演習中に情報共有ツールを使ってみましたけども、ラインのような仕組みですね。いつ誰が何

をやったのか等々、順繰りに共有できるという仕組みだと思います。来年の出水で、是非これを活用して共有を図れればと思っています。

#### 4. 議事 3 (今後のタイムライン検討方針)

##### (1) 今後のタイムライン検討方針について

議事 3 今後のタイムライン検討方針について、事務局より資料の説明が行われた。

##### ■関係資料

##### ◎資料 7 今後のタイムライン検討方針について

議事 3 について意見はなかった。

足立区並びに北区からタイムラインの取り組み紹介があった。

##### ○足立区危機管理部災害対策課 八畝一生

足立区からは行政ではなく地域が中心となった取り組みをお話しします。地域の方が松尾先生のお話を聞いて自分達でどう水害時に行動するかを考え始めたのを発端として、一級河川(中川、荒川)の氾濫に備えたコミュニティタイムラインの検討を行っています。初年度はイベントでアンケート調査等を実施し、29年度は概ね15の自治会等で全体の行動計画作りしました。今年度は、各自治会等の行動計画を策定し、今年度の台風で実際の自分達の行動の比較を12月に行う予定です。予算については助成事業を使い、参加するメンバーは江戸川河川事務所、荒川河川事務所、警察、消防、足立区等が参加して地元が主体的に実行することを考えています。去年今年中は川を中心に来てきましたが、来年度はいよいよ荒川の氾濫への対応の中で実際どう動くのか検討していきたいと考えています。区としては江戸川のタイムラインについても是非検討してもらいたいと思っています。以上でございます。

##### ○北区危機管理室防災課 伊藤元司

当区の地域や区議会では、西日本豪雨を契機に、行政版タイムラインを受けてコミュニティタイムライン又はマイタイムラインをつくるのを支援すべきではないかという声が非常に高まっています。東京都もマイタイムラインの作成に取り組むと言っているが、区としてはコミュニティタイムライン又はマイタイムラインを作る前に、住民と行政の考えがかなり乖離していると考えられる「被害の想定や、避難のタイミング、避難手段など」について、そのギャップをまず埋めることをしていきたい。平成31年度はタイムラインを策定することを前提に避難行動の在り方や避難の在り方検討会のようなものを、学識経験者や地域の方、要配慮者施設の方など主なキーパーソンの方に入っていた検討会で基本的な在り方をまずまとめていきたい。その結果を地域にフィードバックするというのを何回も経た上で、それを基にコミュニティタイムライン又はマイタイムラインの検討を進

めるという作業を来年度行いたいと思っています。以上でございます。

グループワークを行い、水防災タイムラインで取り組みたいテーマの書き出しや取り組みの規模とポイントについて意見出しを行った。結果については後日整理を行い全体で共有する予定。

以上